本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
㈱全国婦人新聞社
〒160 本社　東京都新宿区西新宿3−7−28　宝幸西新宿ビル
電話 03（343）1846代表
振替口座　東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年　4,200円
（郵送料とも）
現金・切手・振替で前納
（月3回発行）
10日・20日・30日

出かけよう
那須荘へ
今度はどんな人たちと友だちになれるかナ。
全国婦人新聞社

老人に関心があるが過半数

大学生の老人・老後に関する調査

＝高齢化社会をよくする女性の会＝

自分らも子供のそばに 五〇・七%

親と同居する 五一・一%

高齢化社会をよくする女性の会（樋口恵子代表）は、二十一世紀初頭に生産年齢の中枢を担うことになる現在の若者たちが、老人にたいしてどのようなイメージを抱いているか、親の老後扶養にどの程度責任を感じているかなどをさぐり、二十一世紀の、高齢社会のあり方を推測する、一つの手がかりにしようと『大学生の老人・老後観に関する調査』を行い、このほど報告書を出した。

報告書では、老人と話す機会がない、老人に対して関心がない人ほど、老人に対して暗い、きたない、弱い、頑固であるというイメージが強く、逆に、老人と話す機会がある人は、老人にあたたかい、優しいなど肯定的なイメージをもっていることや、老親の介護は家庭で、子どもが平等に分担すべきだと思っていることなどがわかった。

『大学生の老人・老後観に関する調査』（以下調査）は、昨年の六月に行われた。分析対象となった大学生は男子四三四名、女子三六〇名の計七九四名。出身地は北海道から九州まで様々だが、関東（四二・二%）と中部（二三・八%）で六六%を占め、平均年齢は二〇・一歳。

対象者の続柄は、長男・長女が圧倒的に多く七五・八%。きょうだいの数も少なくて自分も含めて二人というのが五八・八%、三人きょうだいが二七・五%、一人っ子が九・一%。

調査時点で祖父母と同居している者は一七名、過去にしたことがある者は五四名。まったく祖父母と同居経験がない者が四二名で半数以上だ。

調査内容は『老人観・老人のイメージ』『祖父母について』『親について』『親孝行』『相続・扶養』『自分の老後』の六項目。その中からいくつかを紹介すると――

まず『老人観・老人のイメージ』では、大学生が一般に老人に対してどのような思いを持っているかを知るため「老人や老人問題に対する関心」「老人と話す機会の有無」「老人に対するイメージ」「一般的老人観」を調査している。

老人や老人問題について〝関心があるか〟については、「非常に関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えたのは、全体の五二・三%で半数を越えている。これを男女別に見ると、男＝四三・八%、女＝六二・五%で、男性より女性の方がより関心をもっていることが解る。

その関心度は、祖父母と同居経験の有無では違うものなのか。「どちらかといえばある」や「あまり関心がない」「全くない」では、大きな差はないが「非常に関心がある」と答えた者は、現在祖父母と同居している者が最も多く一三・七%、次に過去同居したことがある者九・八%、同居の経験がない者は、わずか五・九%。当然のことながら身近に老人がある者の方が関心度が高いということだ。

〝老人のイメージ〟では、「明るい」「暗い」というように、十の形容詞を対で質問している。

大学生が老人に抱いているネガティブなイメージは、「暗い」「きたない」「消極的」「みじめっぽい」「弱い」「頑固」などがあり、中でも「弱い」「頑固」というイメージが強くあるようだ。逆に肯定的イメージとしては、「あたたかい」「優しい」など。

特に、肯定的なイメージは男子より女子の方に強い。また、現在祖父母と同居して、話す機会があるという者も、老人を「優しい」「白い」と肯定的に捉えている。同居しているが、話す機会はないという者は、「黒い」「下品」というイメージが強く、同居という同じ条件を有していても、そのことで老人とどのように接するかによって老人に対するイメージにかなり差があることが解かる。その影響力は否定的にも肯定的にも働くことはあきらかだ。

では、一般的にどう感じているのだろうか。

「今の老人はもっと大切にされるべきだと思いますか」「老人は社会に役立つと思いますか」に対して、「そう思う」「ややそう思う」という者が多く、存在意義を認めながらも、「老人は社会の負担になると思いますか」に「そう思う」「ややそう思う」が三割近くもおり、厳しくとらえている面もある。一方、「老人と近づきになりたいと思いますか」には「何とも言えない」（四〇・二%）と答える者が多く、老人とはある程度の距離を置いて接したいと思っている大学生が多いことも察せられる。

調査対象者にとって祖父母は、親というワンクッションを置いて捉えられる仲だが、直接関係の親の老後と自分の関係をどう考えているのだろうか。

親と子が同居することがいいことか悪いことかは別にして、親と〝同居する意志〟があるかどうかの質問に対して、親がある年齢になってから、病気になってから、一人になってからと動機は違うが、同居の意志のある者は五二・一%と半数を越えている。反対に「同居するつもりはない」が約二〇%（男子＝二二・五%、女子＝一九・二%）で、男子の方が多い。

扶養、介護意識はどうか。

「どんなことをしても養う」二四・九%、「自分の生活力に応じて養う」六〇・一%、「なるべく親自身の力や社会保障にまかせる」一三・四%、「一切親自身の力や社会保障にまかせる」〇・八%、「一切社会保障にまかせる」〇・五%。

介護面では、「家庭で」面倒みるべきと思う者が最も多く七三・八%も。次は「病院で」がはわずか三・〇%だった。

では、家庭で面倒を見るべきだという者に対して、「誰が面倒をみるべきか」について質問。六割の者が「子どもが平等に分担して」と答えている。続いて、「娘」一〇・八%、「息子」一〇・四%「長男の嫁」四・四%、以下、息子たちの嫁全員、ホームヘルパー、その他。

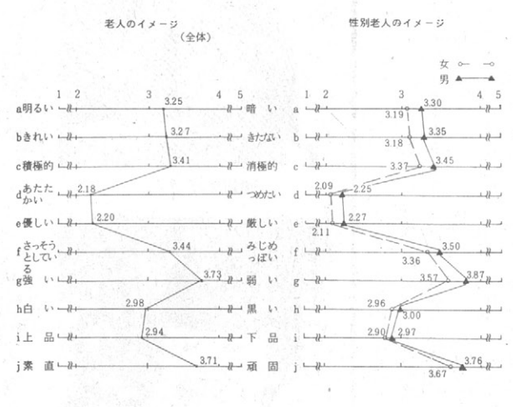
「その他」の中味は、家族みんなで、面倒みることができる人、親が望む人、家にいる者などだ。

では、自分自身の老後感はどのようにイメージしているのだろうか。

子どもと同じ家もしくは近くに住みたいが五〇・七%と最も多い。子供とは別の家で独立して暮したい（男子＝三〇・二%、女子＝二六・一%）もかなり多いが、男女とも老人アパート、マンション、老人ホームというのは少なく、新しい傾向として「仲の良い友人」（男＝七・四%、女子＝二・九%）と暮したいというのがかなりあり注目された。

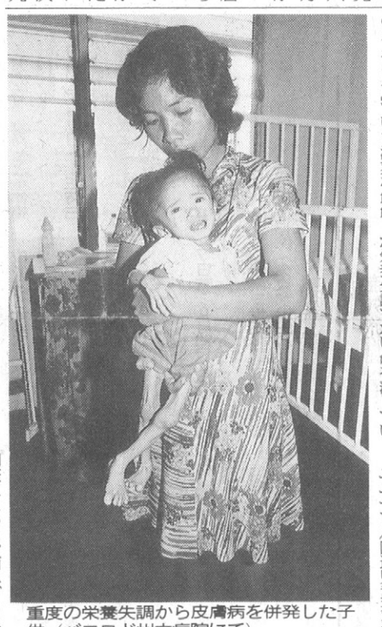
どこで、誰に看病してもらいたいかは、やはり親の場合と同様に「家庭で」（五九・三%）「子供が平等に分担して」（四七・四%）が最も多いが、そのパーセントは親の時より減っており、親は家庭でみてやりたいが、自分の時代になると、それは難しいと思っている者が多いといえまいか。

また、介護もホームヘルパーや家政婦など他人をあげた者は少なく、やはり家族に見てもらいたいという思いが強く、中でも〝娘〟に看病してもらいたいというのが、親の時よりグンと増えているのが特長だ。



ネグロス島（フィリピン）の子らを救え

日本キャンペーン委員会


重度の栄養失調から皮膚病を併発した子供（バコロド州立病院にて）
撮影：浅田恒穂（下も）

サトウキビの島、フィリピンのネグロス島でいま深刻な飢餓が発生、毎日何人もの子供たちが栄養失調で幼い命を落している。

ネグロス島は、一言でいえば〝豊かさの中にある貧しさ〟といった、アフリカの飢餓とは異なる状況が見られるのが特徴だ。この島ではかつての植民地時代そのままに、一部の農園主が〝アシエンダ〟と呼ばれる大農園を経営し、州の五三%の土地を占有、州所得の六〇%を手にしている。

一方、土地をもたない大多数の人たちは全体の三〇%の土地にひしめきあって暮らし、農園への出稼ぎや、農繁期のみの季節労働で生計を立てている。

農園労働者の一日平均の収入は約二百八十円。月収にしても約八千円弱、働ける月でもその収入は一家が十分に食べていける金額ではない。

子供たちの食事はたいてい一日一回。それも米やたんぱく質はほとんどとなく、主食はイモ類や野生のバナナなど。こんな状況の中で、昨年だけで千人以上の子供たちが栄養失調で死んでいった。

市場には食料があふれているネグロス島で、なぜこのようなひどい飢餓が起るのか――そこには植民地時代からの悪習や、マルコス政府の失政など、フィリピン政府も即解決することができない根深い所に原因があるのだろうが、ともかく大勢の子供たちが飢えに苦しみ、死んでいくのは確かな事実なのだ。

このような深刻な飢餓を何とか救えないものかと、日本では相馬信夫氏（カトリック正義と平和協議会会長）らが呼びかけ人となり今年、日本ネグロス・キャンペーン委員会が発足。現地の実態調査を行うほか、ポスターやスライドを制作して広報活動を展開してきた。

同会によると、いま現地ではカトリック教会が中心となって給食サービスが行われており、ろうじて子供たちの飢えをしのいでいる状態だという。一人一日分の給食代はわずか九円。二百七十九円で、一人一月分の給食がまかなえる。

同会ではこの給食費・医療費への緊急援助のほか、人材派遣や、サトウキビ労働者が自活できる道を切り開くための長期的援助の資金として、五千万円を目標に募金活動を行い、みんなの協力を呼びかけている。

送金は次のところに――

※「日本ネグロス・キャンペーン委員会」＝〒160 東京都新宿区西稲田2・3・18・72 ☎03・203・7632

送金方法＝便郵振替 東京7・145224 5または、第一勧業銀行早稲田支店（普）0068・1380892「日本ネグロス・キャンペーン委員会」。

家族たちは深刻な飢餓に落ち込んでいった。

ネグロス島では、一言でいえば〝豊かさの中にある貧しさ〟といった、アフリカの飢餓とは異なる状況が見られるのが特徴だ。この島ではかつての植民地時代そのままに、一部の農園主が〝アシエンダ〟と呼ばれる大農園を経営し、州の五三%の土地を占有、州所得の六〇%を手にしている。

一方、土地をもたない大多数の人たちは全体の三〇%の土地にひしめきあって暮らし、農園への出稼ぎや、農繁期のみの季節労働で生計を立てている。

農園労働者の一日平均の収入は約二百八十円。月収にしても約八千円弱、働ける月でもその収入は一家が十分に食べていける金額ではない。

子供たちの食事はたいてい一日一回。それも米やたんぱく質はほとんどとなく、主食はイモ類や野生のバナナなど。こんな状況の中で、昨年だけで千人以上の子供たちが栄養失調で死んでいった。

市場には食料があふれているネグロス島で、なぜこのようなひどい飢餓が起るのか――そこには植民地時代からの悪習や、マルコス政府の失政など、フィリピン政府も即解決することができない根深い所に原因があるのだろうが、ともかく大勢の子供たちが飢えに苦しみ、死んでいくのは確かな事実なのだ。

このような深刻な飢餓を何とか救えないものかと、日本では相馬信夫氏（カトリック正義と平和協議会会長）らが呼びかけ人となり今年、日本ネグロス・キャンペーン委員会が発足。現地の実態調査を行うほか、ポスターやスライドを制作して広報活動を展開してきた。

同会によると、いま現地ではカトリック教会が中心となって給食サービスが行われており、ろうじて子供たちの飢えをしのいでいる状態だという。一人一日分の給食代はわずか九円。二百七十九円で、一人一月分の給食がまかなえる。

同会ではこの給食費・医療費への緊急援助のほか、人材派遣や、サトウキビ労働者が自活できる道を切り開くための長期的援助の資金として、五千万円を目標に募金活動を行い、みんなの協力を呼びかけている。

送金は次のところに――

※「日本ネグロス・キャンペーン委員会」＝〒160 東京都新宿区西稲田2・3・18・72 ☎03・203・7632

送金方法＝便郵振替 東京7・145224 5または、第一勧業銀行早稲田支店（普）0068・1380892「日本ネグロス・キャンペーン委員会」。

主食が不足のときは、サトウキビをかじり空腹をまぎらしている

婦人手帳

敬老の日、月だからだろうが、このところ新聞の投書欄でシルバーシートの〝用〟〝不用〟論が目についた。〝不用〟の論旨は「シルバーシートに座っているのは若者や壮年ばかり。その前にうらめしそうに立っている高齢者の姿は見るにたえない。なまじシルバーシートがあるので、かえって非情、非道徳がまかり通っている」ということらしい▼反対にシルバーシート絶対賛成はこういったことのようだ。「年寄りはどうしても脚が弱い。電車、バスのなかで立っていることがとても辛い。たしかにシルバーシートに座っている若者は多いが、前に立つとほとんどが席を譲ってくれる。ほんとうはみんな心やさしい人なのだ」▼なかに「年老いた母と一緒によく出かける。シルバーシート以外でも席を譲ってくれる人がふえていて嬉しい。しかし催促がましく、何か悪い気がしてならない。もっとシルバーシートをふやしてほしい。出来れば全車両に」といった投書もあった。▼今月初め、小田急電鉄の各駅に「立つんだ、ジョー」というポスター（タテ約二二〇㌢、ヨコ八〇㌢）がいっせいに張りだされた。リンクコーナーの丸イスに刀折れ矢つきた感じの矢吹ジョーが、がっくりと肩を落して座っている。左下隅に「疲れたって若いんだ。シルバーシートでは、お年寄りや、からだの不自由な方に席を譲りましょう」と、小さくさりげなく書かれている▼初めてこのポスターを見た時、体中に衝撃が走った。四十年代初頭、〝明日のジョー〟は〝巨人の星〟の飛雄馬ともに、幼稚園年長組からお年寄りまで、全国男性のアイドルだった。泪橋のオッちゃん、白木葉子、それからハンチングのきのこの絶叫と祈りが伝わってきた▼明日のジョーはいまもヤングに絶大の人気があるようだ。それが証拠に最近の小田急線ではラッシュは別としてかなり込んだ電車でもシルバーシートに座っている若者はほとんどみかけない。まことにタイムリーなポスターだ。▼私もつとめて立つことにしている。

海外通信

＝カナダ＝④

太田みどり

開かれた大学

学生の教師評定も

八月の半ばから〝バック トゥ スクール〟セールがあちらこちらで始まった。九月に新学期を迎えるので、夏休みの最後は入学・進学の用意をする人たちはなにかと忙しい。キャンパスの中の店でも「新入生歓迎セール」らしきものをやっており、文房具や教科書を両手に抱えた学生たちが長蛇の列を作っている。去年、初めて英語圏の学校教育を受け始めた私は、当然のことながら様々なカルチャー・ショックに出会った。大学の授業に出始めたとき、学生たちの行儀の悪さにまず驚いた。講義中にコーヒー・ジュースを飲むのはほぼ当然、サンドウィッチをほおばったり、りんごをかじったり。足は空き椅子に投げ出され、リラックスした姿勢で聞いている。かと言ってうわの空で聞いている風でもない。わたしはとても言えばそんな余裕のあるはずもなく…。

また、こちらの学生はとてもよく質問をする。わからない事をそのままにせず、恥ずかしがらないで声をあげる。わたしは、わからない事がわからないでままにしているうちに、どんどん授業の流れから取り残されてしまう。質問しようにも、質問をはさむタイミングがうまくつかめない。自己嫌悪に陥ることしばし。第二日目には授業の予定表が配られ、評価の方法についての話し合いがある。試験がいいのか、論文がいいのか。複数回の試験なら、どれくらいの割合で最終評価とするのか。参考文献の分厚いリストが渡される。勉強のやり方は、個人によってまちまちである。遊ぶ時と勉強する時をかなりはっきりと区別している気がする。平日はとても真面目にやり、金・土の週末は遊んで、日曜の夜は再び机に向かうというのが典型的なスタイルのようだ。週日は夜11時まで図書館は開いているし、コンピューターのターミナル・ルームは24時間いつでも使える。一年生中心の寮では、「勉強のやり方」「ストレスの解消法」といったワークショップがつぎつぎに催されている。

「ワーク アンド スタディ」プログラムと言って、大学に学費の援助を申請した学生が、それぞれの才能を活かして大学の用意するプログラムで働くというシステムがある。例えば、フランス語で四苦八苦する学生がいるとする。この学生がカウンセリング・センターに相談をすれば、ティューター（家庭教師）が大学から派遣される。この際、この学生は月謝を支払う必要はない。このティューターはこのプログラムに登録している学生で、彼／彼女の時間給は学費の一部として相殺されるからである。学生会館のウェイターから語学留学生の世話係まで、様々な職種が用意されている。広いキャンパスの芝の手入れも仕事のひとつである。

カナダの大学生の平均年齢はアメリカよりも高いと聞いたことがあるが、これは大学在学中に一～二年を働いたり、旅行したりして過ごし、再び学校に戻るというパターンが多いからしい。また、大学教養課程としてのコミュニティ・カレッジの存在も無視できないだろう。

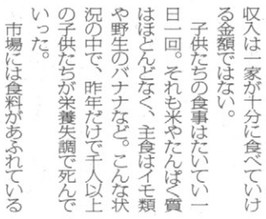
地域社会に開かれた形のコミュニティ・カレッジは、専門職を訓練するコースと、四年制大学へ進学するためのアカデミック・コースとを持っている。入学の基準は高等学校卒業以上だが、高校卒業資格がとれるコースも併設されており、高校の中途退学者にもチャンスが与えられている。転入に必要な単位を自分のペースにあわせて取得すれば、あとは書類の提出で希望の大学への進学・転入学が決められる事になっている。

大学の授業でもうひとつユニークだと思ったのは、学生による教師の評定である。大学側の設置した委員会が、この授業をとって良かったか、教えかたはどうであったか、このコースはほかの学生にも勧めるかどうか等のアンケートをとる。学生にとっては自分達の意見を反映させる良い機会であるが、宿題の少ない甘い先生は良い評判を得やすいので、この評価方法を疑問視する教授は多い。とは言え、学生にとって成績が励みになるように、教える側にとっても良い刺激となっているのは事実のようである。

日本の大学に比べ、学生達の年齢層が幅広く、いろいろな人とめぐりあえる。とくに大学院には様々なバックグラウンドを持った学生が集まっている。現職の先生や、ビジネスマンも学べるように、大学院の授業は、夕方から夜にかけてが多い。大学院にいるひとの多くは、自分の仕事（キャリア）と資格・学歴といったものをかなり計画的に考えているぞ。そして、素敵なのは、それを始めるのに「遅すぎる」ことはない、ということだ。

日本の場合、一旦学校を離れてしまうと、正規の教育システムに戻るのは非常にたいへんな事である。教養講座や、公開講座もいけれど、きちんと単位が取れて、資格につながる生涯教育の場が身近にほしい。向学心に燃える女性のエネルギーと時間が浪費されないためにも、日本の公教育システムの中で、リカレント教育の機会が拡大され、充実することを期待したい。

新学期の準備をする学生
UBCのブック・ストアで

石けんはミヨシ
ミヨシ油脂


ボルケイノ・ハイウェイから那須岳を望む

いま、旅立ちの時。

那須荘は貴女の別荘です。
ご自由にお使い下さい。

全国婦人新聞社が厚生事業の一環としてオープンした「那須荘」も、今年で10年目。
春は石楠花、夏はツツジや山ユリ、秋は紅葉、冬はスキーと四季折り折りの変化があって楽しさ十二分です。
近くには、千本松・南ケ丘牧場をはじめ、りんどう湖、那須ロイヤルセンター、ハイランドパークとレジャーにも事欠きません。目の前に立ちはだかる那須岳の登山も、ちょっと足を伸ばすだけ。
那須高原名物の山菜料理やジンギスカン料理を味わえるドライブインもすぐそこです。
研修や学習会、行楽に、春夏秋冬を通して、お気軽にご利用下さい。
▽全国婦人新聞社「那須荘」
▽あし…国鉄東北本線黒磯駅下車。「那須湯本行」バスで新屋下車、徒歩10分。
▽使用料…無料。但しガス・電気・水道その他の管理実費として、1人1泊2,000円必要です。
▽申し込み…全国婦人新聞社　〒160東京都新宿区西新宿3−7−28宝幸西新宿ビル
☎03−343−1846（東京）
06−771−7415（大阪）
新しいパンフレットができました。本社宛、ご請求下さい。

'86年エイボン女性年度賞5氏に

スピードスケートの橋本聖子さんも

大賞は 国立遺伝学研究所教授 太田朋子さん

「社会のため、また女性の地位向上のために貢献する有意義な活動をし、めざましい成果をあげている女性の功績を称え、表彰する」というエイボン女性年度賞の、ことしの受賞者が決まった。

同年度賞は、大賞、功績賞、教育賞、芸術賞、スポーツ賞の五賞。

ことしの大賞は、国立遺伝学研究所教授・理学博士の太田朋子さん（五三）。

集団遺伝学の分野で多くの貴重な研究成果をあげ、八四年には、日本女性で初めて、米国芸術科学アカデミー名誉会員に選ばれた。八五年には、「分子レベルにおける集団遺伝学の理論的研究」で、初の女性単独学士院賞を受賞するなど、自然科学の発展に寄与する国際的偉業をなしたというのが受賞の理由。

太田朋子さん

兼松左知子さん

磯野恭子さん

功績賞 兼松左知子さん

功績賞は、東京都新宿区婦人相談員の兼松左知子さん（六一）。

兼松さんは、売春防止法制定以来、三十年間、新宿区の婦人相談員として、少女を含め女性の人権保護に尽力。女性の転落未然防止、救済、更生のために献身的な努力を続けた。

教育賞 磯野恭子さん

教育賞を受けたのは、山口放送株式会社テレビ制作部長の磯野恭子さん（五二）。

戦争にかかわる人々を題材としたドキュメンタリー番組の制作に取り組み、作品を通してあらゆる世代に平和の意義、生命の尊さを訴え続けている。七九年、「聞こえるよ、母さんの声が……原爆の子・百合子」で、芸術祭大賞受賞。八五年の「死者たちの遺言――回天に散った学徒兵の軌跡」で大きな反響を呼び、芸術祭優秀賞、民放連賞優秀賞他、多くの賞を受賞した。

芸術賞 鳥居清光さん

芸術賞は、浮世絵師／鳥居派九代目宗家、舞台美術家の鳥居清光さん（四八）。初めての女性絵師として、八二年元禄以来の浮世絵の一派で、唯一、現存している鳥居派の九代目を襲名。歌舞伎の絵看板制作や、舞台美術を手掛け、古くから浮世絵の作風に、新しい個性を加えながら、伝統芸術の伝承に尽力。

スポーツ賞 橋本聖子さん

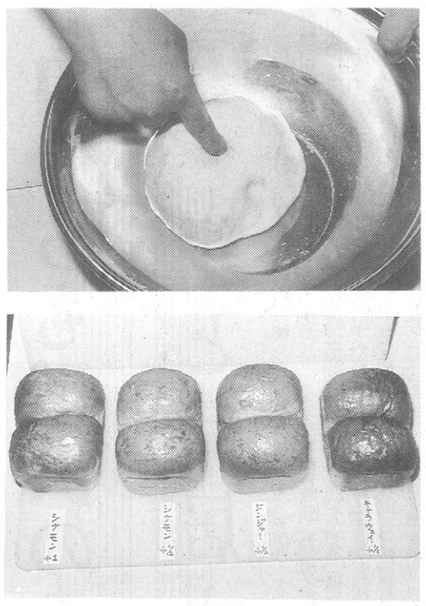
スポーツ賞は、女子スピードスケート選手で、八二～八六年全日本スピードスケート選手権総合五連覇。八六年、世界スプリント選手権四位に入賞した橋本聖子さん（二）。

女子スピードスケート界で、次々と日本記録を樹立。八六年のスピードスケート全日本選手権で、史上初の四年連続全種目完全制覇・総合五連覇達成。国際的にも、輝かしい実績をあげたことで受賞した。

受賞者には、各々賞牌と副賞が渡されるが、受賞者本人への副賞とは別に、各賞の副賞と同額が、エイボン女性文化センターから受賞者の指名する団体（慈善・振興・育成・助成）に寄付される。

橋本聖子さん

鳥居清光さん



スパイス入りのパン

香りが辛味・甘味にほど良く調和

パン屋さんの前の、焼きたてのパンの香りに、〝オイシソー〟と思わず立ち止まりたくなる季節です。

パンは、小麦粉料理の代表選手ともいうべき存在。最近では、いろいろな素材を加え、趣向をこらしたパンが、出回るようになりました。

そこで、今回はスパイスを加えた基本的なパンにチャレンジします。

使うスパイスは、シナモン、ジンジャー、キャラウェイシードなど、市販されているパンにも使われているものです。

パン生地の中にシナモンを入れることで風味のよいパンができますが、入れすぎるとふくらみの悪いパンになります。シナモンの精油成分には、細菌やカビの繁殖を抑える働きがあるためです。シナモンの香りを強くしたい時は、部分的に混ぜるとよいでしょう。

ジンジャーを、甘味の料理に使うのは、ヨーロッパではごくふつうのこと。ジンジャーの香りと辛味が、甘い味とよく調和するので、砂糖を使ったお菓子に利用されています。ジンジャーブレッドクッキー、ジャーペットなどです。

ジンジャーをクッキーなどに使うと、油の酸化が抑えられることが認められています。

キャラウェイシードは、ライ麦を原料としたパンによく使われます。

日本でも、ホテルやレストランで出されるパンに、キャラウェイシードが加えられていることにお気付きの人も多いでしょう。

欧米では、クッキーやビスケットにも使われています。ドイツのザウエルクラウトをはじめ、オーストリアやハンガリーでは、スープや煮込み料理にも利用されています。

ここで紹介するものは、スパイスを単品で使っていますが、シナモンとキャラウェイシードというように何品か混ぜて作るのもよいでしょう。

〈シナモンブレッド〉

【材料】（10×18×7㌢一台分）

小麦粉…200㌘　塩…小さじ½強　砂糖…大さじ一強　ドライイースト…小さじ一　シナモンパウダー…小さじ½　牛乳…130cc

【下準備】

①小麦粉、塩、砂糖、ドライイースト、シナモンを合わせるふるいにかけておく。

②牛乳を40度ほどに温める。

【作り方】

(1)ボールに①の小麦粉類と牛乳を入れ、生地がまとまるまで強くこねる。

(2)充分にこねたら、台上に取り出し、打ち叩くようにしてのばし、折りたたむという作業をくり返す。

(3)のびのあるなめらかな生地になったら、丸めてボールに入れ、ラップをかけ生地が乾燥しないよう、28度位の温かい所で一時間ほど発酵させる。

(4)指で生地を押し、指のあとがそのままつくようならちょうどよい発酵（写真㊤）。

(5)生地全体のガスを抜き、生地を三等分にしきれいに丸め、厚布の上に並べ布をかけ、乾燥しないように10～15分休ませる。

(6)生地がふくらみ形が整えやすくなったら、生地をまるめ直し、型に入れる。

(7)温かく湿度の高い所で40分程発酵させる。

(8)霧をふきかけ、180度のオーブンで約20分焼く。

(9)網の上に取り出し荒熱をとる。

ジンジャーブレッド、キャラウェイブレッドも材料、作り方共に同様。キャラウェイは、包丁できざみ、小麦粉類をふるった後に加えて混ぜる。

（資料提供　ライオン家庭科学研究所）

お知らせ

「東京大討論会 PART1」

「東京自治研究センター」では、十月二日、「東京大討論会PART1」を開く。

この討論会は、政党や思想、利害のいかんにかかわらず、東京の現在と将来、市民の在り方などを自由な立場で議論しようというもので、分科会と全体集会が行われる。

▽日時…十月二日　十三時三十分～二十時三十分。

▽会場…神楽坂エミール（旧東京都教育会館）＝地下鉄東西線神楽坂駅下車三分。

▽分科会テーマ…①道路・車・大気分科会、②水・海・大地分科会、③オープンスペース・緑・再開発分科会、④廃棄物・エントロピー・消費分科会、⑤―25・東急新玉川線駒沢大学駅横浜支部

協賛・日本基督教婦人矯風会

第4回民族差別と闘う関東交流集会

▽日時…9月23日（火）10時～17時

▽場所…世田谷立駒沢中学校（東京都世田谷区駒沢2―39―2・7030）で予約を

▽参加費…会員1200円　非会員1000円

はしだのりひこ講演会

「おバさんゴハンまぁーだ？」の著者、フォーク・シンガーのはしだのりひこさんが、自身の〝主夫体験〟を語ます。

▽日時…十月十一日（土）午後一時三十分～三時三十分

▽会場…東京・豊島区勤労福祉会館（国電池袋駅西口下車）

▽申し込み…豊島区婦人青少年課☎03・981・1111

ピョンピョコうさぎプレゼント ライオン㈱

ライオン株式会社では、九月二十日から、〝ピョンピョコうさぎプレゼント〟キャンペーンを実施する。

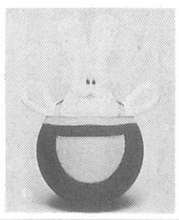
これは、ライオンのハミガキ、ハブラシを対象にしたもので、愛用者一万人に抽選で来年の干支「卯」にちなんだぬいぐるみをプレゼントするというもの。

希望者は、対象商品のパッケージについている、ライオンキャラクターマークを切りとり、お買い上げ価格二百五十円以上を一口として、店頭備えつけの応募ハガキ、または官製ハガキに貼って郵送のこと。

▽応募先…〒163―91 東京新宿局私書箱47号　ライオン㈱「ピョンピョコうさぎ」プレゼント係。

当選は、賞品の発送をもって発表にかえる。

締切りは十一月十日（当日消印有効）。



話しあいの集い「女達の戦後」

発題講演「高度成長と女のくらし」加納実紀代（女たちの現在を問う会代表）、「戦前、戦後を生きて」塩満美代子（アジア女子労働者交流センター所長）

日時…九月二十七日（土）午後三時から二十八日（日）午後三時まで

場所…大磯アカデミーハウス（東海道線「宮前駅」下車。マイクロバスの迎えの用意あり）

参加費…八千円（一泊二日三食、諸経費込）

申込締切…九月二十二日（月）まで。ハガキか電話で

※戦後総括という声が聞かれるいま、戦後を振り返り、何か見落し忘れているものはないかを検証し、同時に現在の自分たちの生活を考えようというもの。

主催・申し込み・クリスチャン・アカデミー（申し込みは東京事務所☎101新宿区小川町一―九新教出版ビル内☎03・267・2479）

実戦的 女性学講座

女性解放理論と運動の出会いと結びの中から、これからの女性解放運動の道をめざして共に語ろうというもの。

第一回「徹底分析―行動する女たちの十年」

問題提起＝江原由美子（お茶の水大学講師）

日時＝九月二十七日（土）午後一時三十分～六時。

場所＝新宿区立婦人情報センター

第二回「フェミニズム―日本の運動のこれから」

問題提起＝上野千鶴子（平安女学院短大教授）

日時＝十月十九日（日）午後一時三十分～六時。

場所＝渋谷勤労福祉会館

主催＝行動する女たちの会☎03・357・9265（火・木・土の午後のみ）

サンパティック土曜教室

9／27　災いからのサバイバル　加藤善治郎（セコム㈱広報室長）

10／25　ワーキングマザーのネットワークづくり　竹永和子（マザーリング研究所代表）

11／29　ナイスゲスト・グレイトホステス　落合お子（テーブルコーディネーター）

▽時間…2―4㎰

▽場所…サンパティック銀座（地下鉄銀座駅下車）

▽申し込み…電話（03・572・7030）で予約を

▽参加費…会員1200円　非会員1000円

海外旅行にも差益還元

▼今度は海外旅行にも円高差益が還元されることになった。対象となるのは大手旅行代理店が十月から発売するパック商品で、とりあえず下期商品（十月～来年三月）について。ホテル代など滞在費の円高差益分を値下げする。

値下げ率は、商品構成、旅行内容により違うが、米国が七―一一％、ハワイ五―七％、東南アジア五―九％で、平均すると六％程度。例えば日本交通公社の「ハワイ・ワイキキ六日間」は三十万三千円が二十八万八千円に。最も値下げ幅の大きいもある「オーストラリア八日間」だと四十五万二千円が三十八万八千円にと、六万四千円も下がる。

各社とも一ドル＝百七十円台の時期に値下げを決定したため、現在の一ドル＝百五十円台が定着すれば来年度上期（四月～九月）の商品はさらに二、三％下がることもあるという。

都内は頭上の危険がいっぱい

▼東京都が昨年七月から今年三月までに千代田、中央、港など都内十二区内のビル千二百棟を対象に「窓ガラス等の落下物実態調査」を行った。

調査は屋外広告物、タイルなどの八項目を各区の担当者が現場を見てチェック、この結果、中野区を除く十一区内で、千百十一棟に危険箇所があることが分かった。同研究室では、タイルが壁から浮いて震度五の地震で落下する恐れのあるビルは千二百十五棟（全体の一三・二％）にのぼった。また建物の高さ別で落下の恐れがあるのは三―四階が一五・八％、五―七階が一一・七％と低層階ほど危険度が高かった。

ビルの多い都内ではいたる所に〝頭上の危険〟があるというわけで、くれぐれもご注意を。

モテモテ土井さん

▼社会党初の女性党首になった土井たか子さんに、内外からインタビューや取材が殺到、土井さんとその周辺はうれしい悲鳴をあげている

海外からの取材の申し込みはニューヨーク・タイムス、ザ・タイムズ、ソ連・タス通信、AP通信など主要新聞、通信社をはじめ、英、米、仏、西独、豪、フィンランド、バングラデシュなどの各国の新聞社から。国内では政治に関係したお硬いインタビューばかりでなく、「三枝の美女対談」といった芸能番組にも出演するなど売れっ子タレントそこぬけのモテモテぶりだ。

しかし就任して以来、超多忙の日が続きこうした内外の取材申し込みは、なかなか消化できないのが悩み――。

トピックス

ボケ老人にかわる呼び方

▼厚生省はこのほど「痴呆性老人対策推進本部」（本部長、幸田正孝事務次官）を発足させ、来年夏までに基本方針をまとめる予定だが、この機会に「痴呆性老人」「ボケ老人」といった呼び方も改められないか、として議論する。現在行政的には、痴呆性老人」で統一されているが医学用語からとった「痴」「呆」という語感に対しては、家族や施設関係者からの反発が強かった。

一方「ボケ老人」の呼び方は「呆け老人をかかえる家族」などのように民間活動分野で使われているケースが多いが、これも「老人をばかにした言い方」「不快だ」との批判がある。

一部の施設ではすでに「老心者」「老心症」「二度童子（わらし）」などの表現が使われているが、昨年十一月には中年世代を「実年」と命名、話題を呼んだ同省――今回はどうなるか。

〝潜在型〟肥満児が増加

▼身長、体重の体形は標準なのに体内の脂肪量の多い〝潜在肥満児〟が少なくないことが、中京大体育学部運動生理学研究室の調査でわかった。同研究室では愛知県内の二小学校の十歳、十一歳、十二歳の児童百二十人（男六十八人、女五十二人）を対象に、全身を水槽内に沈めて求めた体積と体重からそれぞれの脂肪量を測定する水中体重法で体重に占める脂肪量（脂肪貯蔵率）が男子で二〇％、女子で二五％以上の児童を肥満と判定した。

この結果、標準的な体形の児童の中から男子八人、女子一人の〝潜在〟肥満児が見つかった。この潜在型肥満児は脂肪が多い分、体を支えるのに必要な筋肉、骨格などが小さいことになり、過体重の肥満児より問題の部分もあり、将来、本当の肥満になる恐れがある。「食を抑え運動量を増やすなど、肥満児と同様の対策が必要」と同研究室では見ている。

TOSHIBA

ますます便利になりました

(1)ダブルメモリー　食べたい時刻を2つ覚えます。たとえば平日の朝と、休日の朝。同じ日の朝と晩など。毎日同じ時刻に炊き上げます。

(2)キッチンタイマー　時間が来れば音でお知らせ。60分までのキッチンタイマー内蔵。いろいろ使えて便利です。

(3)多機能タイプ　白米、玄米、胚芽米、炊込み、おこわ、おかゆ……マイコンが火加減調節して、おいしく炊き分けます。

東芝マイコン保温釜

RCK- 7DMC (W・A)　(0.7ℓ炊き)……24,500円
RCK-10DMC (W・A・P) (1ℓ炊き)……25,500円
RCK-15DMC (W・A・P) (1.5ℓ炊き)……26,500円
RCK-18DMC (W・A・P) (1.8ℓ炊き)……28,000円

●色　ホワイト(W)、アーモンド(A)、ピンク(P)。
東芝保温釜には保証書がついています。お買い求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとりください。

炊きあがり時刻を2通り記憶するダブルメモリーがつきました。

①いち 押しゃ、早起き、6:00 朝7時。

②に 押しゃ、のんびり、10:00 朝10時。

榊原郁恵

先端技術をくらしの中に…E&E（エネルギーとエレクトロニクス）の東芝